

ESD 推進ネットワークの達成目標に照らした成果概要（2019年6月版）

I. ESD 推進ネットワークの目標

「ESD 推進ネットワークの構築に向けて」（平成 28 年 3 月 ESD 活動支援企画運営準備委員会文部科学省環境省）において、ESD 活動推進ネットワークは以下の目標を掲げている。

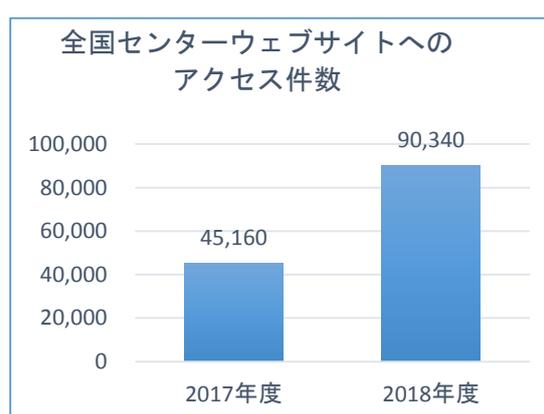
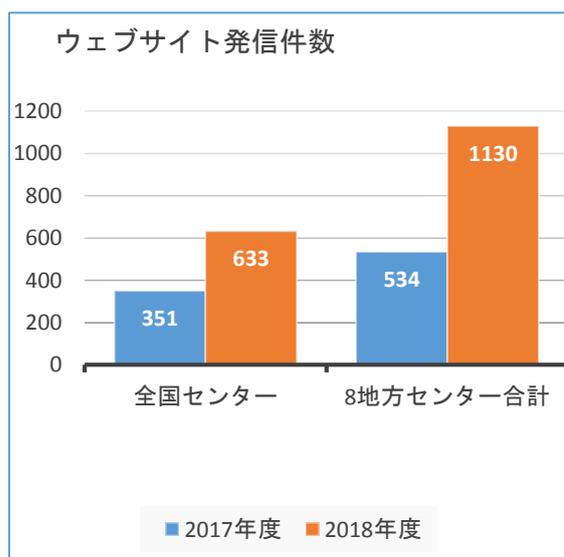
情報収集・発信	ESD 活動を支援するために有益な情報の収集、整理、蓄積、共有を進める。
支援体制	現場のニーズを反映した ESD 活動の支援体制を整備する。
ネットワーク形成・学び合いの場	ESD 実践の学び合いを可能とする重層的なネットワークを形成する。
人材育成	様々な活動、研修、学び合い等を通じて、学校教育、社会教育それぞれにおいて、また、学校、社会教育施設、大学、職場、地域等において、ESD を推進する人材の育成を進める。

II. 目標ごとの成果の概要

4 つの目標毎に、達成目標やその達成を評価するための指標・データ等を蓄積してきた。以下は、そのうち、全国センター・地方センターの活動実績と、2019 年地域 ESD 拠点年次アンケート結果から読み取れる成果の概要である。

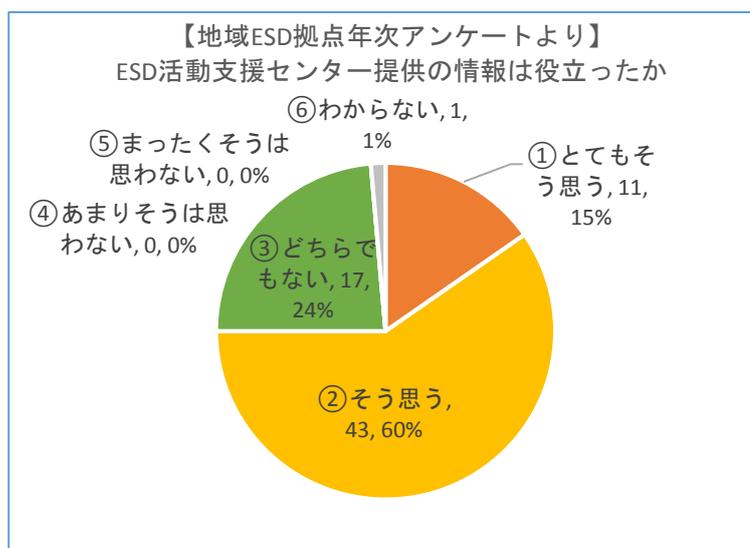
1. ESD 活動を支援・推進する情報収集・発信

- ① 全国センター・地方センターが収集・蓄積した情報が、全国センター・地方センターのウェブサイト、SNS、メルマガ等の手段を使って、複層的に発信され活用されている。ウェブサイトへのアクセス数も伸びている。



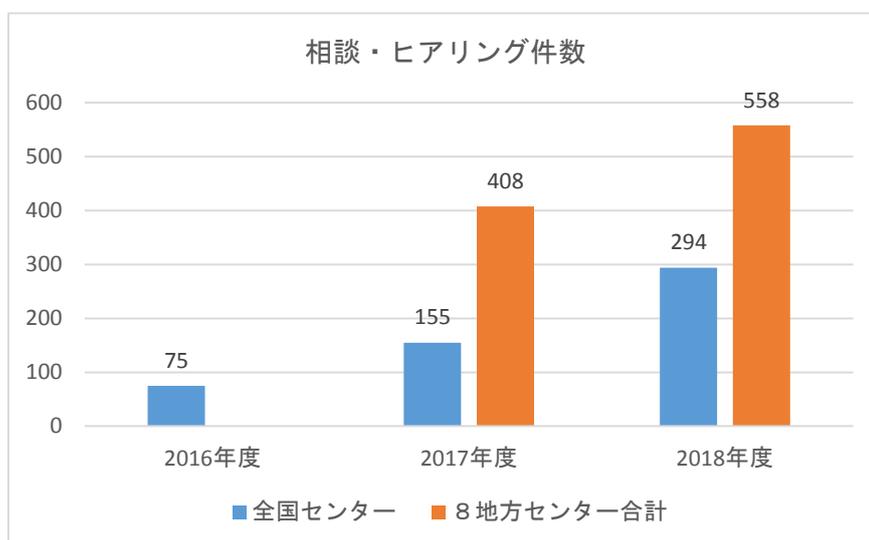
*2018 年度途中で開設された地方センターウェブサイト全体へのアクセス件数のデータは、2019 年度からカウントしているため、2017 年度、2018 年度のデータはない。

- ② ESD活動支援センター(全国・地方)が提供する情報(ウェブサイトのみならずすべての情報提供)が役立ったと感じている地域 ESD 活動推進拠点(以下「地域 ESD 拠点」)が多数(「とてもそう思う」「そう思う」という上位 2 項目が 75%)であることから、地域 ESD 拠点に対して、その活動に有効な情報が発信できていると思われる。



2. 現場のニーズに応じた ESD 活動の支援

- ① 文部科学省、環境省により、全国センターが 2016 年 4 月に、地方センターが 2017 年の 7 月から 9 月にかけて、開設され、それぞれに実践者・専門家による助言機関(企画運営委員会等)が設置され、順調に運用されている。相談対応・ヒアリング件数が増加傾向にあるのも、支援体制の整備の成果とみることができる。

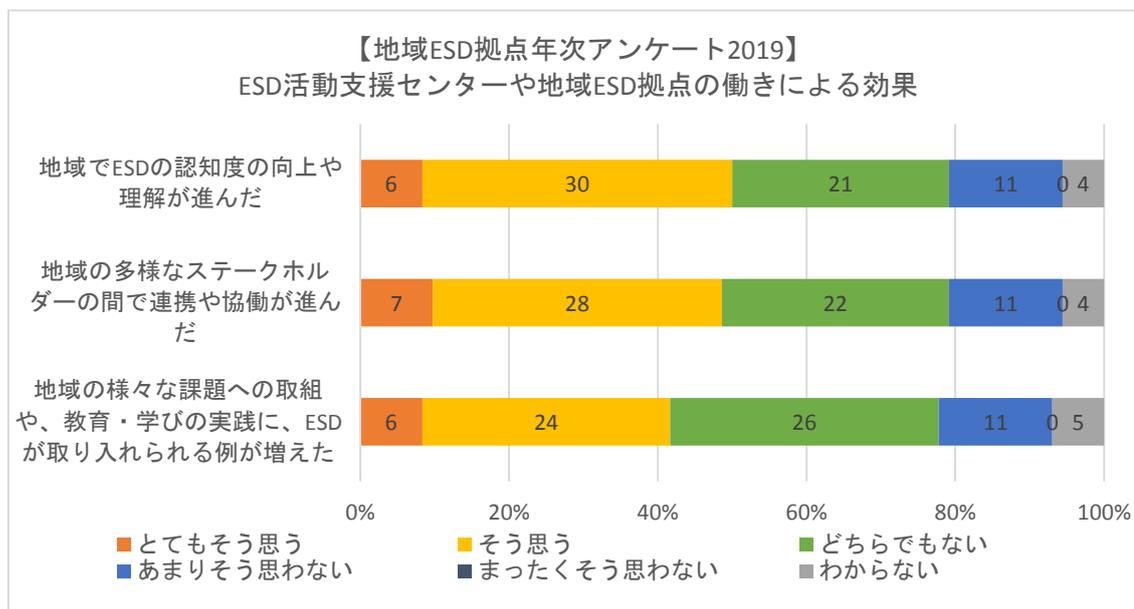


- ② 2017 年 11 月に登録を開始した地域 ESD 活動推進拠点(以下「地域 ESD 拠点」)は、2017 年末までに 27 件、2018 年度末まででは 75 件の登録となり、全国 37 都道府県に少なくとも一つの地域 ESD 拠点が登録されている状態となっている。登録するセクターは、公益法人・NGO/NPO が多いが、教育関係機関、高等教育機関の他、最近では、企業の登録も進みつつある。

- ③ 全国センターでは、全国規模の ESD 推進組織・団体との協力・連携関係の構築を進めているが、それらの組織・団体（以下「協力団体」）は、2016 年度に 11 団体、2017 年度に 27 団体、2018 年度に 40 団体（確認中）となり、協力団体の数が増加している。
- ④ ESD 推進ネットワークを構成する、全国センター、地方センター、地域 ESD 拠点、協力団体という体制の基盤が整いつつあるといえる。

3. ESD 実践の学び合いネットワークの形成

- ① 全国センターは全国フォーラム、地方センターは地方でのフォーラムを開催し、参加者の ESD の理解の推進やネットワークの拡大に貢献している。2019 年の ESD 推進ネットワーク全国フォーラムの参加者アンケートでは、ESD の理解増進に「たいへん役立った」「役立ったとする」回答が合計して 90%、自らのネットワークの拡大に役立ったという回答が、同様に 85%となっている。
- ② ESD 活動支援センター（全国・地方）や地域 ESD 拠点の活動により、ESD の認知度向上・理解の促進が見られたか、地域の多様なステークホルダーの間で連携や協働が進んだか、また、地域の様々な課題への取組や、教育・学びの実践に ESD が取り入れられる例が増えたか、という点に対して、現状では、それらに対して「たいへんそう思う」あるいは「そう思う」と回答した地域 ESD 拠点は、4 割～5 割となっている。



4. 多様な主体・機会による ESD 推進人材の育成

- ① SDGs の浸透に伴い、SDGs 達成に向けた人づくりである ESD という理解を促進する研修等の諸活動が、学校、社会教育、企業、ユースなどを対象に全国センター・地方センターによって行われ、潜在的・顕在的な ESD 推進者を増やしている。
- ② 地域 ESD 拠点が行う研修等（講座、インターン受入れ等を含む）は多様であり、参加人数も相当数に上る。
- ③ 一方、ESD 活動支援センター（全国・地方）や地域 ESD 拠点の活動により ESD 実践者が増えたと感じる地域 ESD 拠点は、全体の 36%となっている。

